

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2020年 8月 24日 ～ 2020年 8月 28日

研修先情報	
大学・機関名	ケンブリッジ大学ホマーントンカレッジ
国名	イギリス

研修に参加したきっかけ	
イギリス英語について興味があったため	

研修参加の目的	
イギリスの文化や交流、そしてスピーキング能力とプレゼンテーションスキルを高めるため。	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
<ul style="list-style-type: none">・イギリスや日本の違いについて毎日違うテーマでディスカッション・語彙の学習・テーマ別の講義・学んだことをまとめ最後に発表する。	

研修を通して得たもの	
イギリスの文化や日本との考え方の違いを学ぶことが出来ました。スピーチの構成や新しい語彙を知ることが出来ました。	

今後の学習計画	
研修を通して、自分には語彙力が不足していることを痛感しました。そのため単語帳を用いて単語を多くインプットすると同時に、学んだことを声に出してアウトプットする練習も多くしていきたいと考えています。	

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）	
<ul style="list-style-type: none">・ English Lounge のように定期的に英語を話す機会を設けてほしいと思います。・ FPT 大学と同じような研修(英語を話す練習、プレゼン等)があればまた受けたいです。	

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	情報システム工学科
研修期間	2020年8月24日～2020年8月28日

研修先情報	
大学・機関名	ケンブリッジ大学(オンライン研修)
国名	イギリス(オンライン研修)

研修に参加したきっかけ	
去年の夏季休暇中に東京電機大学の短期海外研修プログラムで実際にケンブリッジ大学ホマートンカレッジへ行き一か月間学習したことがあったため、このオンライン研修の存在を知った時に興味を持った。	

研修参加の目的	
現地のTAや他大学、他国の生徒から刺激をもらい、英語学習のモチベーションを向上させること。	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
配布されたテキストに基づき授業が進行された。最初の文章に対する基本的な問いかけが終わったら、授業が終わるまでは、テキストに載っているお題に対する自分の意見を生徒が一人一人述べて、先生が話を深め、再度生徒に意見を求めるという流れが続いた。	

研修を通して得たもの	
自分の英語力(特にリスニング)がまだまだであることを自覚し直せた事。	

今後の学習計画	
大学に入ってから自分が英語を学ぶ大きな目的となっている「IELTS」での目標点数を目指して学習を継続していきたいと思う。	

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）	
今回はオンラインでの研修に無料で参加できる点が非常に良かったので、このような費用を必要としないオンライン研修がこれからも有れば良いと思う。	

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学研究科
学科・学系／専攻	情報通信工学専攻
研修期間	2020年 8月 24日 ～ 2020年 8月 28日

研修先情報	
大学・機関名	ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ
国名	イギリス

研修に参加したきっかけ
もともと、ケンブリッジ大学のプログラムに関心がありましたが、研究スケジュールや予算の都合で諦めていました。しかし、コロナの影響でオンラインかつ無料（費用は大学負担）となったことを知り、参加を決めました。

研修参加の目的
年内に国際学会で発表する予定があり、総合的な英語力を向上させたい。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>授業は二部に分かれており、前半はイギリスでのマナーやスポーツ、食事、法律など、文化的・人文学的な内容についてケンブリッジ大学の学生（哲学専攻）とともにディスカッションを行いました。内容が（電大生にとって）身近なものではなかったため、事前に送られてきた教材をある程度予習しておきました。その結果、ある程度スムーズに話をすすめることができました。</p> <p>後半は、ケンブリッジ大学の教授による専門的な講義を受講します。</p> <p>2020年度（オンライン）は以下のテーマでした。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Business and Entrepreneurship・ AML & Financial Crime・ International Law・ Sustainability Leadership <p>これも前半と同じく身近な内容ではなかったため、簡単にその分野の日本語のニュースを読み漁っておきました。そのおかげで理解度は高められたと思います。</p> <p>最終日は指定されたテーマでプレゼンを行います。話すときの視線や文章構成などを見られます。準備が大変ですが、それまでの授業内容で学んだことを活かせばなんとかスライドを作成できると思います。</p> <p>参考までに、指定されたプレゼンテーマを掲載します。</p> <p>Question: “A government’s top priority should be to ensure that the country has a strong economy. Without a strong economy, supported by industry and</p>

entrepreneurship, the government cannot address other social issues.”

研修を通して得たもの

電大では学べないような分野を世界最高峰の大学の教授から最先端の内容を学ぶことができたので、英語だけでなく、教養も身につけることができたと思います。

今後の学習計画

学会発表の準備に活かすほか、IELTS の受験を通して継続的に英語学習を行いたい。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特になし。コロナが落ち着いたあとも、継続的に実施して欲しいです。

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学研究科
学科・学系／専攻	電子機械工学専攻
研修期間	2020年8月24日 ～ 2020年8月28日

研修先情報	
大学・機関名	ケンブリッジ大学ホマートン校
国名	イギリス

研修に参加したきっかけ	
<p>英語力向上のためです。内定先から、在学期間中に英語を勉強するようと言われて、英語を勉強していました。夏休み期間における英語学習の集大成という意味も込めまして、この度、参加させていただきました。</p>	

研修参加の目的	
<p>英語力の向上です。 また、客観性を身につける目的で参加させていただきました。</p>	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
<p>研修のほとんどは、ディスカッションでした。配布された問題集（内容は、教育や貧困、世界情勢など）を前日に解き、当日は、それをもとに、ディスカッションをするというものでした。先生は、ケンブリッジ大学の生徒で、その方と議論をし、イギリスと日本の違いなどを議論しました。以上の討論が1時間ほど行われました。その後、2時間、ケンブリッジ大学の先生の講義を受けました。この内容も、グローバルな視点で物事を見るような授業でした。具体的な内容としては、イギリスにおける起業の事情、マネーロンダリング、国際法（特に環境に対する）、持続可能なエネルギーといったテーマでした。これらの講義も、ずっと、講義を聞くというより、ディスカッションがメインでした。最終日は、プレゼンテーションを行いました。テーマは、「産業と起業家精神が、政府の経済力を支えている」といった課題でした。特に、パワーポイントを用意するとかはなく、口頭で、この課題に対する自分の意見を5分以内に発表するといったものでした。</p>	

研修を通して得たもの	
<p>研修目的は、英語力向上でしたが、研修後は、世界全体が抱えている課題を考える良い機会でした。また、英語で議論ができる良い機会となりました。普段考えることのない、マネーロンダリングや国際法など、初めて聞く内容ばかりで、非常に興味深かったです。</p>	

今後の学習計画

在宅学習が続くと、インプットばかりな学習になっていましたが、今後は、アウトプットの学習（オンライン英会話）などを行っていきたいと考えています。工学的な視点のみならず、様々な素養を身に付けていきたいです。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

次回、参加の方には、英語学習が目的ではなく、英語を用いたディスカッションが目的だと伝えた方が良くかもしれません。最終日に、ケンブリッジ大学の国際センターの先生が、「英語学習が目的ではなく、ディスカッションをして、グローバルな視点を養うことが目的」とおっしゃっていたので、その辺は注意が必要です。